

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館だより

No.26
2016.Apr.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『水に線』 松本 典子(平成19年美術科卒業)

若い女性が水面に描く儂い白い線。静謐な画面の中に一瞬の時を表現した作品です。

Contents

- ① 新入生にすすめるこの一冊
- ② 視聴覚室へ行こう!
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 2015年度ベストリーダー
- ⑥ 図書館のお宝紹介

新入生にすすめるこの一冊



美術科

西口 顕一
先生

『考えの整理』

佐藤雅彦 著 914.6/Sa85

ご紹介するのは、佐藤雅彦著『考えの整理』。雑誌「暮らしの手帖」の連載を単行本化したものです。佐藤氏は「ピタゴラスイッチ」や「2355」（NHK Eテレ）の監修者として知られる映像クリエイターです。私と同世代の人はおそらく、「湖池屋のポリンキー」「NECのバザールでござーる」のCMや「だんご三兄弟」などのキャッチーなフレーズを口ずさめる方も多いでしょう。これらも氏の作品です。この本では、日常で見過ごしてしまいがちな一瞬の小さな出来事に立ち止まり、そこに潜む“なぜ？”と向き合いながら一つの答えを導くという彼なりの思考の整理行程が、二十七章のテーマで示されています。一見無駄に思える作業も、視点の変化やアイデアを生み出すヒントに繋がっていることにハッとさせられます。また、章によってちょっとしたギミックが盛り込んであり、ユニークな思考実験を楽しみながら読み進めることができます。私達は日常の些細な出来事からでも世界を広げられるし、新しい何かを見つけることもできる。そんな風に自分自身の環境を見つめ直すきっかけになるかもしれない、そんな一冊です。佐藤氏は著書もですが、映像作品や研究も大変興味深いので、是非合わせてご覧になってはいかがでしょうか。

(にしぐち けんいち/ビジュアルデザイン)



音楽科

川瀬 麻由美
先生

『「音大卒」の戦い方』

大内孝夫 著 377.9/O91

皆さんは、大学で何を学び、経験したものを将来どのように活用していこうと考えていますか？一日中楽器と向き合う生活を送ってきた音楽科の学生の場合、技術を磨き、専門性を高めようと進学したけれども、音楽を活かした職に就くことは容易ではないことを薄々感じ、不安を抱いているのではないのでしょうか。

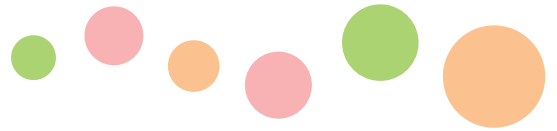
昨年1月刊行の「『音大卒』は武器になる」というキャリアガイド本の第2弾。元メガバンク支店長、現在某音楽大学就職課主任という異色の経歴を持つ著者は、マンツーマンのレッスンによって培われた精神力や忍耐力、アンサンブルでの全体を俯瞰して見る力など音大生の能力をどのように活かすべきか、また一方で、音楽における立ち位置を自覚して、スイッチを切り替える必要性も述べています。

思考と価値観の転換を促しつつ、自律的な人生を獲得していくためのヴィジョンと戦略のヒントを得ることができるかもしれません。

これを機にまずは「本を読むこと」から始めてみませんか。

(かわせ まゆみ/ヴァイオリン)





国際総合学科

長福 香菜

先生

『何者』

朝井リョウ 著 913.6/A83

この小説で描かれるのは、就活に臨む5人の大学生です。同時に、理想と現実の間でもがく彼らの本音と建前がTwitterを通して語られていきます。

5人は就活の情報交換をしながらも、その関係は表面的な付き合いにとどまり、本音は話しません。たとえば、不合格に傷つきたくないから、「行きたい会社ではなかった」と言い訳をし、無謀だと思われたくないから、大手企業を目指していることは誰にも言いません。また、友人の内定が羨ましくも妬ましいから、友人の内定先の悪評をネットで検索したり、画一化されたくないから、自己実現を盾に就活や就職を否定したり…。

なぜなら、「カッコ悪い」と思われたくないし、「カッコ悪い」自分を認めたくないから。彼らは、Twitter上では本音を吐露する一方で、ありのままの自分を偽り、美しい言葉を纏った“自分”を作り出します。本来の自分とは異なる理想の“自分”、つまり「何者か」を限られた字数の中で生きることによって、その「何者か」になれるのではないか？「何者か」としての自分を誰かが評価してくれるのではないかと。しかし、“自分”を繕ったところで結局は「何者か」にはなれませんが、私たちは「何者か」になりうる特別な存在でもないのです。

就活とは、自分を飾り立てることはありません。今の自分をどう認め、自身といかに向き合うか、ということです。ぜひ一読し、たった一個の「わたし」という人生を生きるために、“何者か”になるのではなく、自分は“何者”であるのか？を見つめる学生生活を送ってほしいと願います。

(ちょうふく かな／日本文学)



情報コミュニケーション学科

野田 佳邦

先生

『もうダメされないための「科学」講義』

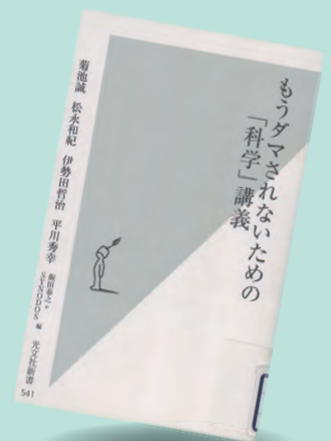
菊池誠ほか 著 404/Ki24

“科学っぽい”けれど科学ではないものは、世の中にたくさんあります。個人的に信じる分には問題ありませんが、“科学っぽさ”を混ぜて他人の危機意識を煽ることは、ときに社会の混乱を引き起こし、正しい情報の伝達を阻害する要因にもなり得ます。しかし、世の中には、危険情報であればデマであっても積極的に流して構わないという人達もいます。

本書では、マイナスイオン、水からの伝言、遺伝子組換え作物など…どこかで聞いたことがあるトピックの「科学性」について、専門家が分かりやすく解説しています。食の安全、美容、健康など生活に密着するテーマの場合、科学的裏付けが無くても“科学っぽい”用語を使って不安を煽れば注目を集められます。TVや雑誌で白衣を着た人が話していると、つい信じてしまいませんか？しかし、よく考えてみると白衣は誰でも着ることができますし、安いものは千円くらいで売られています。

情報の絶対量が増え続けている現代において、情報の信頼性を判断する力の重要性はますます高まっています。選挙権年齢の引下げも決まり、有権者としての責任を負うことになる新入生の皆さんに是非読んでもらいたい一冊です。

(のだ よしくに／情報リテラシー)





視聴覚室へ 行こう!



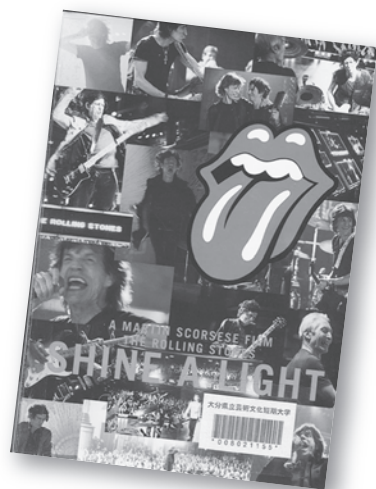
■ ■ ~音楽科 森口真司先生おすすめのディスク~

「ザ・ローリング・ストーンズ シャイン・ア・ライト」(2008)

マーティン・スコセッシ監督作品



超有名なバンドの超有名な映像なので、「つべこべ言わず見ろ!」「とにかく見ろ!!」「死ぬまでに一度は見ろ!!!」以上!——で事足りるのだが、本当に見てほしいのでもう少しお付き合いを。ロックを普段あまり聴かない人でも「ザ・ローリング・ストーンズ」の名前は聞いたことがあるでしょう。ザ・ビートルズと同時期に結成、常に比較・賞賛され続け活動暦50年超えの生ける伝説にもかかわらず、少なくとも日本における認知度はビートルズとは比較にならないほど低い(あくまでビートルズと比べて)バンドです。かく言う私もビートルズは小学校以来ずっと聴き続け当然全アルバムを持っていますが(人類の義務)、ストーンズに関しては恥ずかしながらほぼ敬遠し続け、アルバムもいまだ有名どころを何枚か所持しているに過ぎません。理由として誰にでもすぐ覚えられる“キャッチー”な名曲が少ない(あくまでビートルズと比べて)こと、ストーンズが深く根ざしている「黒人音楽」に対する日本人(私を含む)の関心がやや薄いことがあると思います。さて肝心の映画は2006年秋ニューヨークにおけるライブ映像なので、当時ミック・ジャガー(ヴォーカル)63歳、キース・リチャーズ(ギター)62歳、ロン・ウッド(ギター)59歳、チャーリー・ワッツ(ドラムス)65歳——「おいおいオッサンがノスタルジーで老人バンドを若者に無理やり聞かせるのかよ、やれやれ」とか言ってるそこの学生!ミックを見よ!!こんな色気があってキレッキレの身のこなしのジジイが存在するか?「ちょいワルおやし素敵っ!」とか言ってるそこの女子!キースを見よ!!このジジイは本当に悪いぞ!クスリのやり過ぎでボロボロだ!(以下省略)時間がない人はゲストのバディ・ガイ(ブルース界の大御所)が登場して「法律なんかなくせ!×××を吸わせろ!」と連呼するところ、最後の「ブラウン・シュガー〜サディスファクション」と続く圧巻シーンだけでも見るがよい。真のカリスマとはどういうものか、圧倒的な音楽の力、善悪を超えた圧倒的な生の肯定を目の当たりにすることになるだろう!なお大人の世界を知るためにはメニュー画面で日本語字幕(日本語歌詞付)を選ぶべし。



(もりぐち しんじ/指揮)

■ ■ 視聴覚室利用ガイド

開室時間 12:30~19:00 (長期休業中は12:30~16:30)

- ★ 2階・視聴覚室ではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます
- ★ CDは貸出もしていますので、1階・カウンターにて手続きをしてください
- ★ DVD等、一部資料は館内利用のみとなっています。複数で鑑賞をしたい場合は2階・グループ学習室をご利用ください

■ ■ ナクソク・ミュージック・ライブラリー (NML) を使ってみよう!

平成27年6月1日から運用開始

NMLはクラシックを中心に150万曲以上を自由に聴ける音楽データベースです
図書館視聴覚室で利用できるほか、自宅のパソコンからでもサービスが利用できます
ただし、音源のダウンロードは著作権上の問題によりできません
詳しい内容は、図書館までお越しください



学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ「学生選書ツアー」（毎年2回実施）を昨年11月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計88冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧ください。



学生選書ツアーに参加して

国際総合学科 1年 佐藤 七海

「自分の興味のある本を二万円分買っていい。」聞いた時は驚沢過ぎて、時間内で使い切れるかどうか心配になりました。実際書店に行っても最初は、どうしても普通の買い方でした。中身確認の立ち読みのはずが全部読み終えて、購入する必要が無くなった、この厚さの割にこの値段はちょっと……と考えるしまったりです。

ですが一緒に行っていた人に「自分が欲しいと思う本を買うことによって、新しく興味を持つ人が増えるかもしれないよ。それにこんな機会はこれからもうないだろうし、値段を気にせず買おうよ。」という言葉をかけてもらいました。そこでようやく踏ん切りが

つけられた気がします。

それからは自分が欲しいと思ったものは、中身を少しでも確認してカゴに入れていきました。その時に値段計算も勿論していたのですが、改めて二万円というのは大金だと再認識しました。カゴが重くて持ちきれなくなるほど、沢山の心理学と伝統芸能の本を購入することができました。全部の本を読み切れていませんので、今から図書館に通うのが楽しみです。本を選んでいた時間はとても楽しくて、私にとって至福の時間でした。もしまたこんな機会があるのならば、是非とも参加したいと思っています。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 早瀬 麻乃

『きのうの影踏み』

辻村深月 著 913.6/Ts44

辻村さん独特の語りで進められていく怪談や不思議なお話がたくさん入っている短編集です。短編なので、さっと読みたい時には持って来いです!!辻村さんの話はすごいですよ。どうすごいかは見てのお楽しみです!!ぜひ読んで下さいね。いや、見なきゃそです!



『かわいい和菓子』

ユイミコ 著 596.65/Y97

「かわいくっておいしい和菓子を自分も作ってみた!」だけど、道具持ってないし、作るのも難しいのかな」なんて人におすすめです。基本から応用まで写真付きで分かりやすく説明してくれているんです! 少しでも興味があるなら図書館で見てください。



美術科 1年 日野 もなみ

『ハニービターハニー』

加藤千恵 著 913.6/Ka86

「ハニービターハニー」は、恋愛をテーマにした短編集です。作中に出てくるのは丁度、芸短の生徒と年の近い人たちばかりです。誰にも言えないような事、言葉にできない感情をそっと照らし合わせて読んでみてください。心が揺さぶられるような場面に出会う事ができると思います。



『イスラムがわかる!』

菊池達也 監修 167/Ki24

最近ニュースでよく聞く「イスラム」についての本です。今、世界で起こっている事を知るためにはまずその地域の文化や宗教を知る所からだと思います。「イスラムがわかる!」ではその基礎を図版に合わせて易しく、楽しく教えてくれます。今までの私の見方が大きく変わりました。



『ブラックサッド』

ファン・ディアス・カナレス 著
ファンホ・ガルニド 画
726.1/D71

黒猫探偵ブラックサッドが様々な依頼を1人で、時には警察や協力者の力を借りて解決していく海外ハードボイルドコミック。作画者は元アニメーターということもあり、躍動感溢れる描写と色使いはぜひ一度読んで見てほしいです。また、擬人化した動物達が主役なので、彼らのユニークな表情も必見です。



『縫製人間ヌイグルマー』 大槻ケンヂ 著 913.6/O89

主人公森野姫子はクリスマス・イヴの日に黄色のデディペアを買う。その中には遠い惑星からやって来た綿状生命体の戦士が住んでいた……。大槻ケンヂ著作のド派手な登場人物達が織り成す展開は、小説なのに漫画のような高揚感を与えてくれます。高校の時から今でも変わらずに面白いと思える一冊なので、ぜひ読んでほしいです!



『明治・金色キタン』

畠中恵 著 913.6/H41/2

『明治妖魔ダン』の続編となる本作品は明治維新後、ガス灯により江戸時代からとても明るくなった街銀座で垣間見える闇が引き起こす事件を交番の巡査2人を中心に解決していく話です。まだこの世の中にも妖怪がいるのかもしれない、そう思わせてくれるちょっと怖くて不思議な本作品をぜひ体感していただきたいです!



『世界に衝撃を与えたグラフィックデザイン: 100のアイデアでたどるデザイン史』

ステファン・ハー、ヴェロニク・ヴィンス 著
727/H51

この本は題名の通り、数々のデザインに関する技法で特に印象深いものを取り上げ、年代別に紹介しています。ボディペインティングという原始的なものからWebデザインという最新のものまで紹介していたり、各ページ大きな写真を乗せて解説しているのでポスターの魅力がひと目でわかる様になっています。美術科の学生でなくとも楽しめると思うのでぜひ見て欲しいです。



『マインド・コントロール』

岡田尊司 著 145.4/O38

マインド・コントロール。そう言われたら多くの人には『犯罪に使われることが多い危険なもの』そんな風に思うのではないだろうか。かく言う私自身も、この本を読む前はそう思っていた。だがこの本を読んで、その認識が偏っていると気付いた。毒にも薬にもなりうるその知識を身に付けたい方は、是非手に取ってほしい。



『面白いほどよくわかる!犯罪心理学』

内山 綾子 監修
326.34/U25

犯罪は決してしてはいけないことである。それは社会の常識であり、知っていて当然のことだ。だが昨今、殺人事件を含めた犯罪は後を絶えず、残忍性が増している。その理由や背景について、図表や絵を用いて分かり易く説明しているのがこの本だ。犯罪が増えたからこそ手に取って欲しい一冊。



『英国一家、日本を食べる』

マイケル・ブース 著
383.81/B64/1

NHKでアニメ化もされたこの本は、イギリス人の家族が日本各地を訪れ、日本食や日本文化を探索していくという内容です。多くの日本人と交流している家族をみて、微笑ましかったです。普段意識することの少ない日本について改めて意識させてくれる本だと思います。



『キキ&ララの「幸福論」: 幸せになるための93ステップ』

朝日文庫編集部 編
135.5/A82

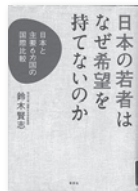
この本は、多くの人々から愛されているキキとララのイラストとともに、幸せに気づくための93ものステップが紹介されています。一度読めば、幸せになる方法が分かり、明るい毎日を過ごすことができるようになると思います。すぐに読み終わられるので手に取りやすいことも魅力的だと思います。



『日本の若者はなぜ希望を持ってないのか』

鈴木賢志 著
367.68/Su96

『希望』という人によって取り方があいまいな主観的な指標に基づくものとはいえ、いくつかのポイントでは明らかに国による傾向の違いが読み取れて興味深い。また、著者の洞察についても特に教育に関するところは著者自身がかかっている産業ということもあろうかなり考えさせられるものがある。



『今日も明日も上機嫌。モタさんの「言葉」』

斎藤茂太 著
松本春野 絵
159/Sa25

テレビでふと耳にしたことがあるなと思いつつこの本を手に取りました。読み終わるのもあっという間でしたが、心にじんわり染みてくるものがあります。また全ページがカラーの水彩画の風景や人々の様子が、見ているだけでも優しくなれる作品です。



平成28年度の主な図書館スケジュール

5月 図書館祭り <図書館へ行こう!キャンペーン グッズのプレゼントあり>

6月 第1回学生選書ツアー

10月 本活月間 <月に1冊本を読もう!キャンペーン>

10月 Library Lovers' キャンペーン2016 <九州地区大学図書館共同企画>

11月 第2回学生選書ツアー

こんな本が新しく入りました

2015年10月～2016年3月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介いたします

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	007.35/N73	アップルのデザイン戦略：カリスマなき後も「愛される理由」	日経デザイン編	音楽科	760.33/Ku14	アルファベットで引く6か国語音楽用語辞典	久保田慶一監修
	021.2/Y19	コモンズと文化：文化は誰のものか	山田奨治編		766.1/Mi97	新イタリア・オペラ史	水谷彰良著
	361.453/H36	大学生のためのメディアリテラシー・トレーニング	長谷川一・村田麻里子編著		C/7747/1-25	小澤征爾ワーナー録音ボックス 1-25 [CD]	小澤征爾
	383.1/F36	Fashion：世界服装全史	マーニー・フォッグ責任編集		C/7750/1-3	杉目奈央子 リサイタルライブ 1-3 [CD]	杉目奈央子
	523.06/N72	空間のジャポニズム：建築・インテリアにおける日本趣味	新見隆著		B7.45/Hohn/BB 1/2-2/2	Slavische Fantasie = スラヴ幻想曲	Carl Höhne
	674.3/P15	レイアウト手法別広告デザイン			B8.32/Yos/T/AO 1/5-5/5	アトムハーソクラブカルテット 弦楽四重奏版	吉松隆
	758/Te44	世界の名作椅子40選：うしろ姿から探る機能と美	寺原芳彦著		B4.1/Kuh/P	6 divertissements：für Flöte = 6つのティヴェルティメント：フルート独奏版	Kuhlau
国際総合学科	316.873/E24	ニューカレドニアカナク・アイデンティティの語り	江戸淳子著	情報コミュニケーション学科	368.71/U75	リジリアンスを育てよう	マイケル・ウンガー著
	329.67/U96	朝鮮人BC級戦犯の記録	内海愛子著		371.23/R22	教育学の歴史	アルベルト・レープ著
	336.3/C14	組織文化を変える：「競合価値観フレームワーク」	キム S.キャメロン[ほか]著		377.15/N95	ゼミ入門：大学生の知的生活第一歩	野村一夫著
	336.3/Ko94	リーダーシップ論：人と組織を動かす能力	ジョン・P・コッター著		780/Ko12	スポーツの経済学：2020年に向けてのビジネス戦略を考える	小林至著
	523.21/Y19	韓国に遺る日本の建物を訪ねて	やまだトシヒタ著		782.3/H31	魔法をかける：アオガク「箱根駅伝」制覇までの4000日	原晋著
	778(J)/Ch	小さいおうち [DVD]	山田洋次監督		150/Sh	ザ・シフト [DVD]	ウェイン・W・ダイアー
	778(W)/Ha/1-8	ハリー・ポッター：DVDコンプリートセット [DVD]	J・K・ローリング原作		775/Ge	蒼の乱 [DVD]	いのうえひでのり演出
図書館	019.9/Sa25	全方位読書案内：「何から読めばいいか」がわかる	齋藤孝著	図書館	689/I24	観光学事始め：「脱観光的」観光のススメ	井口貢編
	361.42/A94	イギリス人アナリストだからわかった日本の「強み」「弱み」	テビッド・アキンソフ著		760.7/Su25	ハーバード大学は「音楽」で人を育てる	菅野恵理子著
	480.76/Ka82	動物翻訳家：心の声をキャッチする、飼育員のリアルストーリー	片野ゆか著		814/O67	感じる言葉オノマトペ	小野正弘著
	588.32/W46	田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」	渡邊格著		913.6/Se16	チューバはうたう：mit Tuba	瀬川深著

図書館職員注目の一冊

『1行バカ売れ』

川上徹也 著 674/Ka94

例えば、タイトルに惹かれて同じ本を2冊買ってしまっただけの経験はありませんか？ たった1行で人とお金が集まるキャッチコピーの鉄則を紹介する本書は、言葉の持つ「力」を考えさせられる本であり、広告宣伝に限らず普段の生活にも応用できる法則がギュッと詰まった本です。(みよし)



『図像学入門』

山本陽子 著 702.1/Y31

日本美術の素朴な「なぜ？」を軽快な文章でわかりやすく解説しています。図像学とは、描かれた題材にどんな意味があるのかを解説する学問。絵画が描かれた背景や裏話がわかれば、ぐっと身近に感じてきます。画集や美術館でなんとなく眺めていても、どこがどう良いのかさっぱりわからない、という方におすすめです。(おの)



『もの言うキャスター：大越健介がみた「現代（いま）」』

大越健介 著 699.39/O53

NHK午後9時のニュースの前キャスターである大越さんはタイトル通り「もの言うキャスター」だ。公共放送だから言うべきだ！という信念のもと、ニュースの現場を取材し、その時代を生きる人々と対話してきた。厳しい現実と直面しても決して目をそらさず、真摯に向き合ってきた著者の生き様が垣間見える1冊です。(うしじま)



『絶望名人カフカの人生論』

フランツ・カフカ 著 945.7/Ka15

「そこまで落ちこまなくても…」と声をかけたくなるほど、ネガティブな発言の数々。でも、本当に辛い時に助けてくれるのはこういった言葉かもしれません。誰よりも弱く失敗ばかり、不安や孤独を抱えながら小説を書き続けたカフカの「絶望の言葉」に、不思議と元気づけられます。(にのみや)



年間ランキング発表!

(2015年4月～2016年2月集計)

図書	▼図書館の分類ごとに、一番貸出の多かった図書を発表します!	
0 総記	「デザインの組み方」	甲谷一著
	「MODO★Beginners」	柳村徳彦著
	「After Effects標準エフェクト全解」	石坂アツシ大河原浩一、笠原淳子著
1 哲学	「『めんどくさい』がなくなる本」	鶴田豊和著
	「『なるほど!』とわかるマンガはじめての他人の心理学」	ゆうきゆう監修
2 歴史	「大分あるある」	あべ由紀子著
3 社会科学	「音大卒は武器になる!」	大内孝夫著
4 自然科学	「世界の美しいフクロウ」	石田亜矢子翻訳
5 技術・工学	「フランス人は10着しか服を持たない」	ジエファー・レスコト著
	「ほくのおやつ: おうちにあるもので作れるパンとお菓子56レシピ」	ほく著
6 産業	「ディズニーの現場力」	大住力著
	「思わず目を引く広告デザイン」	
7 芸術・美術	「大正・昭和乙女のロマンチック図案」	谷口朋子文
	「スタイル別ロゴデザイン」	Pie Books編集・制作
8 言語	「TOEICテスト新公式問題集 vol.6」	Educational Testing Service著
9 文学	第1位 火花	又吉直樹著
	第2位 植物図鑑	有川浩著
	第3位 鹿の王(上): 生き残った者	上橋菜穂子

第1位は第153回芥川賞受賞作の「火花」でした。2015年に最も話題を集めた本が、芸短の文学部門ランキングでもトップとなりました。お笑い芸人にスポットライトを当てた、又吉さんならではの作品です。

雑誌	▼貸出の多かった雑誌を第3位まで発表します!バックナンバーは雑誌コーナーと2F第一書庫に置いてありますので、チェックしてくださいね!	
第1位	デザインノート	デザインノートの第1位はデザインのメイキングを取り扱った雑誌でした!ロゴや写真・イラストのテクニックを毎月特集を組んで紹介しています。デザイナーのインタビューなどもあり、デザインの旬を知るのに最適な雑誌です!
第2位	装苑	装苑は長年にわたり購読しているモード系ファッション誌です。貸出・閲覧ともに多く利用されています。本や映画などカルチャー情報も豊富で、何かとお役立ちな人気雑誌です!
第3位	CGWORLD	CGWORLDは2位と僅差でランクイン!映像制作に欠かせないCG・デジタル映像編集のノウハウや、業界情報が満載の映像情報誌です。CGをやっていない方も楽しめる内容ですよ!

映画	▼図書館内視聴覚室またはグループ学習室で視聴の多かった映画DVDを第3位まで発表します!(※DVDの館外貸出は行っていません)	
第1位	トイ・ストーリー3	トイ・ストーリー3(アニメ・103分) 堂々の第1位に輝いたのは、同シリーズ作の中でも特に評判の高い「トイ・ストーリー3」でした。子ども向けアニメと侮るなかれ、ディズニー・ピクサー最高傑作とのあおり文句に偽りなしの感動作です。
第2位	ウォーリー	ウォーリー(アニメ・98分) なんと第2位もディズニー・ピクサー作品となりました! 700年間、たった独りでゴミ処理を続けているロボットのウォーリーが、あることをきっかけに冒険に飛び出します。優しい気持ちになれるファンタジーアニメです。
第3位	ボンヌフの恋人	ボンヌフの恋人(フランス映画・126分) パリのボンヌフ橋で暮らすホームレスの青年は、失恋と失明の危機から家出放浪中の女学生と出会い、恋に落ちていきます。不器用で心に沁みる恋の物語です。

図書館の

お宝紹介

(第1回)

『新バッハ全集』

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)の作品全集、通称『新バッハ全集』と呼ばれるものです。1954年に最初の巻が刊行され、すでに100巻を超えています。本学図書館でも未完・絶版等を除きほぼ全巻を所蔵しており、図書館の第一閲覧室に入って左手の窓側に配架されています。この全集は大変に高価なので「禁帯出」となっていますから、実際に演奏で使うのではなく、手持ちの楽譜のチェックに使うという用途が向いています。バッハの曲を練習していて、「何かこの音変だな」などと気になったときは図書館に向いて一度楽譜のチェックを試みてはいかがでしょうか?

(小川伊作/音楽理論)



本や楽譜などの資料の
購入リクエストはMyOPACの
購入希望 から受付しています!

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。まずはリクエストを送ってみてください!



ほん太

5月は図書館祭り
図書館へ行こう!

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No.26

発行日 2016年4月1日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
http://www.oita-pjc.ac.jp/library/
図書館キャラクターデザイン: 若杉郁子